

口は健康のもと Vol.70

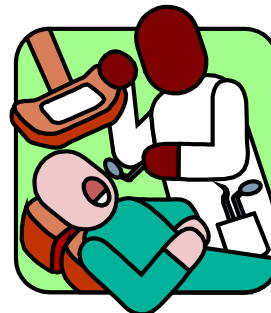
入れ歯は常に清潔に

入れ歯に付着する汚れを「デンチャープラーク」と言います。このデンチャープラークは口臭の原因になるばかりでなく、肺炎の原因にもなります。肺炎は高齢者の死亡原因の第1位となる病気です。口の中の細菌を誤嚥することでおこる肺炎を嚥下性肺炎といいます。

デンチャープラークの大部分は細菌などの微生物から構成されています。入れ歯にはカンジダという真菌(カビ)が付着しやすいことがわかっており、入れ歯を入れている口の中に発症する義歯性口内炎は、この真菌が原因なのです。

口の中には700種類から900種類もの細菌が住み着いています。カンジダはこれらの細菌と付着しやすいため、入れ歯にカンジダが付着するとさらにいろいろな細菌が重なるように付着してきます。

ただ、カンジダや細菌は目で見ることはできません。清潔なようであっても実際は多くの微生物が付着していますので、肺炎の予防のためにも、入れ歯を市販されている洗浄剤などで清潔にすることがとても重要です。清掃法は担当医にご相談ください。



奥羽大学歯学部 口腔細菌学
教授 清 浦 有 祐